

# 早川平会計事務所通信

2月号 VOL. 207

## 税理士法人早川・平会計

〒101-0048

東京都千代田区神田司町2-10 安和司町ビル2階

電話: 03-3254-2171 FAX: 03-3254-2174

URL: [www.ht-tax.com](http://www.ht-tax.com)

Mail: [y.taira@ht-tax.com](mailto:y.taira@ht-tax.com)



産経新聞社の『夕刊フジ』が1月31日を最後に休刊しました。1969年の創刊から56年の歴史に幕を下ろす理由はデジタル端末の普及、購読者の減少、原材料や輸送コストの上昇などだそうです。掃除に使ったり野菜を包んだり鍋敷きにしたりと生活の知恵でもある新聞紙。そのうち貴重品になるかもしれませんね。

## 知っとこ! 「税」のマメ知識

### 今月のマメ知識: 【経費にできる? グリーン車の利用料】

「通常とは異なる環境の出張は、肉体的にも精神的にも負担がかかります。そのため新幹線を利用する際は、グリーン車などを利用しても経費として認められるのでしょうか?」という質問がありました。グリーン車の利用料を経費として認めるかどうかは、会社の旅費規程と職務上の必要性によります。旅費規程があり、グリーン車などの利用が職務に必要とされている場合は、経費として認められるでしょう。旅費規程がない場合でも、グリーン車の利用が職務に必要と認められる範囲であれば、経費として認められることがあります。しかしながら旅費規程を定めておいたほうが、税務署とのトラブルを避けることができます。通勤の場合は、グリーン車の利用は通常の通勤手当の非課税規定には該当せず、給与課税される可能性があります。個人事業主においては、業務目的で利用した場合に全額を必要経費として計上できます。このような要件を満たすことで、グリーン車の利用料を経費として計上することが可能となります。

## 世界の偉人伝

### 今月の偉人: 【サティ】

エリック・サティは19世紀後半から20世紀初頭に活躍した作曲家です。フランスのオーフルールに生まれ、10代でパリ音楽院に入学するもほどなく退学。ピカソやコクトーなど芸術家と親交を持ちながらピアノ演奏と作曲を続け、前衛的な音楽スタイルを確立しました。シンプルで反復的な旋律の「家具の音楽」は、現代のアンビエント音楽の先駆けとなりました。「音楽界の異端児」は私生活でも「白い食べ物しか食べない」と奇人ぶりを発揮。独自の美学とユーモアを貫いた人でした。

## 気軽に Let's 英会話

### 今月のキーワード: 【number plate】

語呂合わせから、2月5日は「笑顔の日」です。車のナンバープレートも「2525」は人気のようです。ところで、この“number plate”はイギリス英語で、アメリカでは“license plate”といいます。英米を比較してみると「アクセル」は“accelerator”(英)と“gas pedal”(米)、「ボンネット」は“bonnet”(英)と“hood”(米)、「トランク」は“boot”(英)と“trunk”(米)など異なりますが「ハンドル」は英米共に“steering wheel”で、どちらも“handle”とはいいません。

# 今月のあなたの運勢

鑑定:妙慎

## A型

向上心や活動意欲が増しますが、月の前半は慎重に歩を進めましょう。後半は物事がスムーズに運びます。

## B型

成果が形になる好運月です。やり残して悔しい思いをしないためにも集中して物事に取り組みましょう。

## O型

何事も順調な運勢です。タイミングを見てチャンスをつかみましょう。交友関係を広げるとさらに大吉！

## AB型

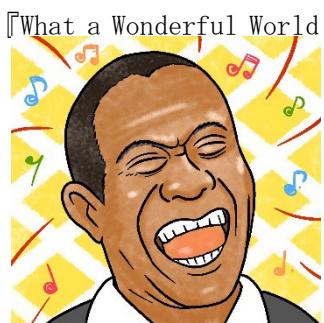
トラブルを抱えやすい運勢です。しかし短気にならないように常に心を整えておけば運気は上昇します。



## 振り向けば「あそこにもここにも」「商売のヒント」

### 今月の商売のヒント : 【商売を素晴らしいする方法】

「キング・オブ・ジャズ」とたたえられたルイ・アームストロング。通称「サッチモ」で親しまれていた彼の『What a Wonderful World (この素晴らしい世界)』は発売から50年以上経った今でも名曲として愛されていますが、SNSでこんなコメントを読みました。「もともといい曲だと思っていたけれど、サッチモが生きていた時代や彼の境遇を知った上でこの曲を聴いたら100倍感動して、世の中の見方が変わった」。黒人が公然と差別を受けていた時代に同胞である黒人社会からも「アンクル・トム」とやゆされていたサッチモが、66歳で心臓病を患ったときに作ったのが『What a Wonderful World』でした。歌詞をご存じない方はネット検索してみてください。背景を知ることで「好き」が深まり、新しい視点でこの世界を見ることができる。これは素晴らしい経験だと思います。「これを知る者はこれを好む者に如(し)かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」。論語の有名な一節で「知識を持っているだけの人は、それを心から好きな人にはかなわない。そして、それを好きなだけの人も、それを心から楽しんでいる人にはかなわない」という意味です。つまり、何かを「知っている」だけではなく、それを「好き」になり「楽しむ」境地に達することで、より深く本質を理解し、生かせるようになるという教えです。学びや物事への取り組み方の重要な心構えですが、商売においても参考になる考え方だと痛感しました。良いこともそうでないことも区別なく、目の前のことをただひたすら楽しもうとすると、この世界も商売も素晴らしいものになるのでしょうか。



## トナリの木相

### 【架空犯】

著作累計発行部数が1億部を突破した東野圭吾の新作ミステリー。複雑怪奇な人間模様を丁寧にひも解いていくので最後まで一気に読みたくなる一冊です。



お米と一緒に水と蜂蜜を入れて、いつも通り炊飯するとおいしいご飯が炊けます。氷で炊飯釜の水が冷やされると、お米の粒立ちがよくなります。蜂蜜の保水効果でご飯が冷めてもボソボソの食感になりにくく、消化酵素でご飯の甘みがアップしますよ。

得する  
知恵袋